

第6学年国語科学習指導案

日時：平成26年11月12日（水）

場所：6年1組教室

授業者：森 早苗

1. 単元名 作品の世界を深く味わおう

教材名 『やまなし』

2. 指導の立場

(1) 教材観

本単元は、物語「やまなし」と伝記「イーハトーヴの夢」で構成されている。「やまなし」は、親子のかにの会話と共に比喻表現や擬声語、擬態語、色彩語などが多用され、色鮮やかな情景が描かれている。宮沢賢治の独特の表現が多く児童にとっては難解な部分や謎の部分も多いが、言葉の響きの美しさやリズムを感じ自分なりに想像を広げ、賢治の象徴的で幻想的な世界に浸ってほしい。

「イーハトーヴの夢」は、賢治の生き方や考え方、作品などを紹介した伝記である。高い理想と深い思いを併せもつ賢治の人物像を知り、賢治の他の作品への興味も深まると思われる。

作者の生き方や考え方と重ねて自分の考えを深めたり、同じ作者の作品を観点を決めて読み比べたりすることで、作品の世界を深く味わい、豊かな読書生活につながることを願っている。

(2) 研究との関わり

【児童の実態】

- ・選んだ言葉から想像を広げて、自分なりに読み取ることができるようになってきた。
- ・複数の言葉を根拠にして考えたり仲間の発言内容につなげて話したりすることができつつある。
- ・課題に沿って言葉を選ぶことはできるが、広範囲の文章から課題解決の核となる言葉を選び出したり比べ読みをしたりすることが困難な児童も2割程いる。
- ・多くの児童が読書を好み、図書館をよく利用しているが、物語や伝記などの長文には苦手意識をもつ児童が多い。

研究内容1

(1) 付けたい力を明確にし、単元を貫く言語活動を設定する。

付けたい力

- ・叙述をもとに豊かに想像し、作者の生き方や考え方と重ねて自分の考えをもつ。
 - ・観点を決めて複数の本や文章を比べて読んだり摘読したりする。
- 単元を貫く言語活動の設定
- ・単元の出口に「宮沢賢治リーフレット」を作る活動を設定し、独特な表現を味わったり賢治の生き方や考え方と関わらせたりして、読み取ったことをまとめる。毎時間のまとめをリーフレットに書き込むことで、学習の系統性をもたせる。

研究内容2

(2) 考えを広げ、深めるための効果的な交流活動を工夫する。

- ・ハンドサインを使って自分の立場を明らかにし、仲間の発言内容につなげて話すようにする。
- ・一人読みのノートに頼らないで、仲間の意見をヒントにして更に自分の考えを深めるようにする。
- ・本時は、やまなしが周りに与えたものと賢治の願いや考え方を結び付けながら全体で練り上げられるようにする。

【めざす児童の姿】

- ・会話や情景、比喻表現、擬態語などの象徴性や暗示性の高い表現から豊かに想像して、場面の様子をつかむことができる。
- ・全体交流では、仲間の意見を聞いて更に自分の考えを深め、練り上げることができる。
- ・宮沢賢治の生きざまや理想を知ったり、観点を決めていろいろな作品を読んだりすることで、独特な世界観に浸り自分の考えをもつことができる。

3. 本時のねらい

「やまなし」が周りに与えたものと賢治の願いとを結び付けて考えることを通して、「やまなし」のように周りに喜びや希望を与えたいという賢治の願いから「やまなし」という題名を付けたことに気付くことができる。

4. 本時の展開 (6 / 8)

	学 習 活 動	個に応じた指導・援助 交流の形態 評価規準
<p>つかむ</p> <p>考えをもつ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p>	<p>1. 「五月」と「十二月」の情景から、感じたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「五月」は、明るくまぶしい感じの川底である。突然、かわせみがやってきて、不気味で怖い世界になった。自然の厳しさや命を奪われる悲しさがあふれている。 ・「十二月」は、静かでゆったりした川底である。やまなしが落ちてきていいにおいが広がり、楽しみと安心にあふれた世界になった。自然の恵みや命を与える喜びが感じられる。 <p>2. 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>賢治は「やまなし」という題名にどんな思いを込めたのだろう。</p> </div> <p>3. 題名「やまなし」に込められた思いについて考える。 (一人読み)</p> <p>4. 考えたことを交流する。(全体交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなしによって希望が感じられるようになったから、こういう世の中になってほしい。 ・やまなしが周りに喜びを与えたということが、賢治の人のために働くという考え方に似ている。 <p>【深めの発問】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>落ちてきたやまなしは、かへの兄弟をどんな気持ちにしましたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「五月」は厳しい自然の世界であるが、「十二月」はやまなしによって平和で温かく喜びにあふれる世界になった。やまなしのように、周りに楽しみや優しさを与えたいという賢治の考えが、題名に込められている。 <p>5. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>賢治は、周りの人々の幸せを願い人のために行動した人である。やまなしが落ちてきたことで川底が希望に満ちた世界になり、やまなしはかへの喜びや楽しみをもたらしている。やまなしのように、周りに喜びや希望を与えたいという賢治の願いが「やまなし」という題名に込められている。</p> </div> <p>6. 代表児童のまとめを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人読みは、「五月」と「十二月」の世界観や、「イーハトーヴの夢」「雨二モマケズ」で学んだ賢治の考え方や生き方から考えることを確認する。 <p>A: 「やまなし」という題名について自分なりに考えをもっている児童に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賢治の考え方や願いと関連づけて、根拠を明らかにさせる。 <p>B: 「やまなし」という題名について考えをもてない児童に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「五月」と「十二月」の全体の世界観から考えるようにする。 <p>【深めの発問の意図】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>かへの幸せな気持ちにさせたやまなしと賢治の考え方の共通点から、主題に迫るようにする。</p> </div> <p>全体交流</p> <p>やまなしが周りに与えたものと賢治の願いとを結び付けながら、考えを練り上げるようにする。</p> <p>作者の生き方や考え方と関連づけて主題について考えをもち、リーフレットにまとめている。</p> <p>【発言・ノート・リーフレット】</p>

第6学年国語科学習指導案

日 時：平成26年11月12日（水）

場 所：6年2組教室

授業者：野原 晴美

1. 単元名 作品の世界を深く味わおう

教材名 『やまなし』

2. 指導の立場

(1) 教材観

本単元は、物語「やまなし」と伝記「イーハトーヴの夢」で構成されている。「やまなし」は、親子のかにの会話と共に比喻表現や擬声語、擬態語、色彩語などが多用され、色鮮やかな情景が描かれている。宮沢賢治の独特の表現が多く、児童にとっては難解な部分や謎の部分も多いが、言葉の響きの美しさやリズムを感じ自分なりに想像を広げ、賢治の象徴的で幻想的な世界に浸ってほしい。

「イーハトーヴの夢」は、賢治の生き方や考え方、作品などを紹介した伝記である。高い理想と深い思いを併せもつ賢治の人物像を知り、賢治の他の作品への興味も深まると思われる。

作者の生き方や考え方と重ねて自分の考えを深めたり、同じ作者の作品を観点を決めて読み比べたりすることで、作品の世界を深く味わい、豊かな読書生活につながることを願っている。

(2) 研究との関わり

【児童の実態】

- ・複数の言葉をつないで発言したり、仲間の意見を聞いて考えを深めたりして伝え合うことができつつある。
- ・選んだ言葉から想像を広げて、自分なりに読み取ることができるようになってきた。
- ・課題に沿って言葉を選ぶことはできるが、広範囲の文章から課題解決の核となる言葉を選び出すことが困難な児童も2割程いる。
- ・多くの児童が読書を好み、図書館をよく利用しているが、借りている本には偏りがある。

研究内容1【付けたい力を明確にし、単元を貫く言語活動を設定する】

付けたい力

- ・叙述をもとに豊かに想像し、作者の生き方や考え方と重ねて自分の考えをもつ。
 - ・観点を決めて複数の本や文章を比べて読んだり摘読したりする。
- 単元を貫く言語活動の設定
- 単元の出口に「宮沢賢治リーフレット」を作る活動を設定し、独特な表現を味わったり賢治の生き方や考え方と関わらせたりして、読み取ったことをまとめる。毎時間のまとめをリーフレットに書き込むことで、学習の系統性をもたせる。

研究内容2【考えを広げ、深めるための効果的な交流活動の工夫】

- ・一人読みのノートに頼らないで、仲間の意見をヒントにして更に発言をつなぐようにする。
- ・立ち止まりたい言葉や考えを深めたいことについて、仲間の考えを知ることによって自分の考えを深め、全体で練り上げられるようにする。

【めざす児童の姿】

- ・会話や情景、比喻表現、擬態語などの象徴性や暗示性の高い表現から豊かに想像して、場面の様子をつかむことができる。
- ・全体交流では、仲間の意見を聞いて更に自分の考えを深め、練り上げることができる。
- ・宮沢賢治の生きざまや理想を知ったり、観点を決めていろいろな作品を読んだりすることで、独特な世界観に浸り自分の考えをもつことができる。

3. 本時のねらい

谷川での親子のかにの会話や行動描写に着目することを通して、「五月」の谷川での恐怖や不安、「十二月」の喜びや安心感を想像することができる。

4. 本時の展開 (5 / 8)

	学 習 活 動	個に応じた指導・援助 交流の形態 評価規準
<p>つかむ</p> <p>考えをもつ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p>	<p>1. 前時の学習内容をふり返る。 ・「五月」と「十二月」の谷川のイメージを振り返る。</p> <p>2. 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>谷川での親子のかにの気持ちを想像しよう。</p> </div> <p>3. 親子のかにの会話や行動描写に着目して、気持ちを想像する。(一人読み)</p> <p>4. 想像したことを交流する。(全体交流)</p> <p>「死んだよ」「殺されたよ」「取ってるの。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怖い。どうして死んでしまったのか。何を取っているのか。 「居すくまってしまいました。」 ・びっくりした。怖そうなものが急に来た。死ぬかと思った。 <p>「ねむらないで外に出て、だまって」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のんびりしている。落ち着いて生活している。 「おどるようにして」 ・丸くてかわいい形だなぁ。どこに行くのだろう。 「おいしそうだね。」 ・食べたいなぁ。やまなしが落ちてきてよかったなぁ。楽しみができたなぁ。 <p>【深めの発問】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「おいしそうだね、お父さん。」と言うかにの子どもらは、どんな気持ちだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「五月」は突然やってきたかわせみに恐怖を感じているが、「十二月」はやまなしに楽しみや期待を感じている。 ・「五月」は驚いたり不安を感じたりしているが、「十二月」は安心して楽しくのんびりしている。 ・「五月」は居すくまったりぶるぶる震えたりして動揺しているが、「十二月」は踊るようにやまなしのかげを追いかけてたりにおいを味わったりして生き生きとしている。 <p>5. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「五月」はクラムボンや魚、かわせみの存在に「居すくまっ」たり、「ぶるぶるふるえ」たりして恐怖や不安を感じるが、「十二月」はやまなしの出現に「おどるようにして」「やまなしの後を追」って喜びや楽しみを感じている。</p> </div> <p>6. 代表児童のまとめを聞く。</p>	<p>A: 表現に着目し、親子のかにの気持ちを想像している児童に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の効果を明らかにさせる ・「五月」と「十二月」の親子のかにの気持ちがどう違うか想像させる。 <p>B: 表現と読み取りにズレがある児童に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かわせみ」がやってきた時の「居すくまってしまいました。」「おどるようにして」の気持ちを想像させる。 <p>【深めの発問の意図】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「五月」の不安や恐怖とは反対に、「十二月」はやまなしの出現によって喜びや楽しみを感じているという違いを明確にする。</p> </div> <p>全体交流</p> <p>言葉を手がかりにして想像を広げ、「五月」と「十二月」の違いをはっきりさせる。</p> <p>親子のかにの「五月」の恐怖や不安、「十二月」の喜びや安心感を想像している。</p> <p>【ノート・発表・リーフレット】</p>

単元指導計画

<p>【カレーライス】 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>言葉見つけの視点 ・会話文 ・心情描写 ・行動描写</p> <p>読み取りの技 ・前の場面や自分と比べて考える。</p>	<p>【やまなし】 場面についての描写をとらえ、作品の中で使われている表現を味わいながら、優れた描写について自分の考えをまとめることができる。</p> <p>【読(1)エ,オ】 目的に応じて、複数の本や文章を比べて読み、効果的な読み方を工夫することができる。</p> <p>【読(1)イ】 作品の中で使われている表現を味わい、語感や言葉の使い方に関心をもつことができる。</p> <p>【伝(1)】</p> <p>言葉見つけの視点 ・比喩 ・擬態語 ・色彩語</p> <p>読み取りの技 ・作者の生き方や考え方と関わらせる。 ・前の場面と比べる。</p>	<p>【海の命】 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。</p> <p>言葉見つけの技 ・会話文 ・心理描写 ・行動描写</p> <p>読み取りの技 ・自分の生き方や考え方と比べて考える。</p>
---	--	---

次	時	ねらい	学習活動	着目する語句、表現 読み取りアイテム	指導の手立て 評価規準
1次 (見通しをもつ過程)	1 2	・ 賢治の生き方や理想を読み取ることを通して、単元を通して学習する足場をつくることができる。	<p>1. 「イーハトーヴの夢」の範読を聞く</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">賢治はどのような気持ちで作品を書いていたのだろう。</div> <p>2. 教科書を見ながら、宮沢賢治についての年表を完成させる。</p> <p>3. 宮沢賢治についての言葉、行動、理想、作品から賢治の生き方や考え方をまとめる。</p> <p>4. 「雨ニモマケズ」を読み、賢治独特の表現を味わい、込められた賢治の願いや考えを読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">賢治の生き方や考え方を関わらせながら、「やまなし」や賢治の他の作品から独特の表現を味わい、リーフレットを作ろう。</div> <p>5. リーフレットを掲示して、5年生の子たちに宮沢賢治を紹介することを知らせる。</p>	<p>一生をささげたい。</p> <p>いねの心が分かる人間に。</p> <p>苦しい農作業の中に～。未来に希望をもつ。</p> <p>人間も動物も植物も、たがいに心が通い合うような世界。</p> <p>自分で耕しながら人と話さなければ。</p>	<p>・単元の目標を理解し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>・賢治の生活や経験と、生き方や考え方を関連させて板書する。</p> <p>・賢治の作品から、生き方や考え方を読み取ることができることを押さえる。</p> <p>宮沢賢治について関心を持ち、賢治の生きた時代と考え方をまとめようとする。</p> <p>【発言・ノート】</p>
2次	3	・ あらすじをつかみ、「や	<p>1. 「やまなし」のリード文を読む。</p>	<p>青い幻灯 クラムボン</p>	<p>・「やまなし」は賢治の想像</p>

<p>(読み方を習得する過程)</p>	<p>まなし」に宮沢賢治独特の表現や物語の情景や言葉の使い方に興味をもち、学習計画を立てることができる。</p>	<p>「やまなし」のあらすじをつかみ、学習計画を立てよう。</p> <p>2. 「やまなし」を音読する。</p> <p>3. 初発の感想、深く考えてみたいことを書きまとめる。</p> <p>4. 感想を交流し、学習課題を設定する。</p>	<p>イサド</p>	<p>の世界の話であることを押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 賢治独特の表現がたくさんあることに気付かせる。 心に残ったことや不思議に思ったことを書きまとめ、交流する。 <p>【ノート・発表】</p>
<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩表現や擬態語、色彩語などに着目することを通して、「五月」と「十二月」の谷川の情景を想像することができる。 	<p>1. 本時の学習課題を確認する。</p> <p>「やまなし」の世界の中の谷川の情景を想像しよう。</p> <p>2. 比喩表現、擬態語、色彩語に着目し、谷川の水の様子、色、やってきたものについて想像する。(一人読み)</p> <p>3. 想像したことを交流する。(全体交流)</p> <p>【深めの発問】 賢治独特の表現によって、「五月」と「十二月」の谷川の様子はそれぞれどのようなイメージで描かれているだろう。</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p> <p>「五月」は魚が「黄金の光をまるくくりくちゃくちゃ」にしたり「コンパスのように」「黒くとがって」いるかわせみがやって来たりする、不気味感じがする。しかし、「十二月」は「トブン」と谷川に落ちてきたやまなしがぼかぼかと流れていったりして、のんびりとした平和な感じがする。</p> <p>5. 代表児童のまとめを聞く。</p>	<p>かぶかぶ 青く暗く鋼のように つぶつぶあわ日光の黄金は ゆらゆらのびたり縮んだり 黒く静かに ぎらぎらする コンパスのように黒くとがって ぎらっと 黒くとがって</p> <p>ラムネのびんの月光 並が青白い火を燃やしたり 消したり トブン 月光の虹がもかもか集まり 青いほのおをゆらゆらと 金剛石の粉 よほど大きくなり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水上と水中のイメージの違いに目を向けさせる。 ・ 表現から、児童がもつイメージを大切に <p>比喩表現や擬態語に着目しながら、谷川のイメージをもっている。</p> <p>【ノート・発表・リーフレット】</p>
<p>5 (六年二組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 谷川での親子のかにの会話や行動描写に着目することを通して、「五月」の谷川 	<p>1. 前時の学習内容を振り返る。</p> <p>2. 課題を確認する。</p> <p>谷川での親子のかにの気持ちを想像しよう。</p> <p>3. 親子のかにの会話や行動描写に着目し</p>	<p>死んだよ 殺されたよ 何か悪いこと 居すくまって おかしなもの こわいよ だいじょうぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に読み取った谷川の情景と関連させて、親子のかにの気持ちを考えさせる。 ・ 川の中にやっ

<p>本時)</p>	<p>での恐怖や不安、「十二月」の喜びや安心感を想像することができる。</p>	<p>て、気持ちを想像する。(一人読み) 4. 想像したことを交流する。(全体交流)</p> <p>【深めの発問】 「おいしそうだね、お父さん。」と云うかにかの子どもらは、どんな気持ちだろう。</p> <p>5. 学習のまとめをする。</p> <p>「五月」はクラムボンや魚、かわせみの存在に「居すくまっ」たり、「ぶるぶるふるえ」たりして恐怖や不安を感じるが、「十二月」はやまなしの出現に「おどるようにして」「やまなしの後を追」って喜びや楽しみを感じている。</p>	<p>だ、安心しろ心配するな</p> <p>両方の目をあらんかぎりのばして ついていってみよう ああ、いいにおいだな 踊るようにおいしそうだね</p>	<p>てきた物に対しての子どもらのかにかの気持ちを想像させる。 親子のかにかの行動や会話から、谷川での気持ちを想像している。 【ノート・発表・リーフレット】</p>
<p>6 (六年一組 本時)</p>	<p>・「やまなし」が周りに与えたものと賢治の願いとを結び付けて考えることを通して、「やまなし」のように周りに喜びや希望を与えたいという賢治の願いから「やまなし」という題名を付けたことに気付くことができる。</p>	<p>1. 「五月」と「十二月」の情景から、感じたことを交流する。 2. 課題をつかむ。</p> <p>賢治は「やまなし」という題名にどんな思いを込めたのだろう。</p> <p>3. 題名「やまなし」に込められた思いについて考える。(一人読み) 4. 考えたことを交流する。(全体交流)</p> <p>【深めの発問】 落ちてきたやまなしは、かにかの兄弟をどんな気持ちにしましたか。</p> <p>5. 学習のまとめをする。</p> <p>賢治は、周りの人々の幸せを願い人のために行動した人である。やまなしが落ちてきたことで川底の希望に満ちた世界になり、やまなしはかにかに喜びや楽しみをもたらしている。やまなしのように、周りに喜びや希望を与えたいという賢治の願いが「やまなし」という題名に込められている。</p> <p>6. 代表児童のまとめを聞く。</p>	<p>黒く静かに 青光りのまるで ぎらぎらする鉄砲だまのような コンパスのように黒くとがって 居すくまっておかしなもの こわい</p> <p>黒い丸いおおきなもの いいにおい やまなしの後を追いました。 ひとりでおいしいお酒がで きる</p>	<p>・何を伝えるために、何を対比しているのかを考えさせる。 ・「五月」と「十二月」の世界で何を表したかったのかを考えさせる。 「五月」と「十二月」の主題について考えをまとめ、リーフレットにまとめている。 【ノート・発表・リーフレット】</p>
<p>3次</p>	<p>7 8 ・宮沢賢治の「やまなし」以外の物語から、賢治</p>	<p>1. 「やまなし」に賢治の願いや考え方が込められていることを振り返る。</p> <p>賢治の願いや考え方が込められている作</p>		<p>・「イーハトーヴの夢」での賢治の生き方や考え方を振</p>

の生き方や考え方を読み取り、リーフレットに書きまとめることができる。

品をリーフレットで紹介しよう。

2. 並行読書してきた物語の内容に込められた賢治の願いや考え方を書きまとめる。
3. 自分が読んだ宮沢賢治の作品について交流し合う。
4. リーフレットを交流することによって、賢治作品に対する理解を深める。

り返る。
・一番心に残った作品について紹介させる賢治作品から、賢治の生き方や考え方を読み取り、リーフレットにまとめる。
【リーフレット】